PMS-2241(18011)

施工説明書

吐水口引出式 シングルレバー混合水栓

LF-A345SYX型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100％発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

施工の前に

安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注意 …「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ …「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⃠ …「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

…「分解してはいけません!」

❗ …「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 注　意

(禁止)	**湯水を逆に配管しないでください。** ※水を出そうとしても、湯が出てやけどをする恐れがあります。	給湯 湯(H) 止水栓 給水
(禁止)	**給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	85℃以下
(禁止)	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
(禁止)	**【寒冷地用の場合】水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。** ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。	
(分解禁止)	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。** ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
(指示)	**給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。** ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	給水圧力≧給湯圧力
(指示)	**お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。** **寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。** ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	**ヤケドの恐れがないところまで水圧変動を押さえた配管設備にしてください。** ※他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。	あちっ
(指示)	**フレキホースの差し直しをする際は、必ず湯側水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。** ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	止水栓 とじる

本製品の仕様と使用条件

使用最高温度	85±5℃	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水 ※1
使用環境温度	【一般地用】　0～40℃ 【寒冷地用】－20～40℃	但し、内部の水を凍結させないでください。	
給水(給湯)接続	G1/2		
圧力条件	0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)　給水圧力≧給湯圧力 ※2		
取付条件	水栓取付穴：φ35～φ38mm、カウンター厚：5～30mm		

※1：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。
※2：給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A＋0.07MPa（流動圧）※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
最高圧力	0.75MPa（静水圧）

測定条件は次の通りです。
●レバーハンドルは全開です。
●給水温度5℃、吐出温度42℃(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬季を想定)。
●給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。
●ガス給湯器の設定温度は最高温度です。

貯湯式温水器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	0.05MPa（流動圧）
最高圧力	0.75MPa（静水圧）

●給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。

その他の条件

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力（0.20～0.34MPa程度）に減圧してください。
●給湯に蒸気は使用できません。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。

施工前のご注意

取付けに必要な工具

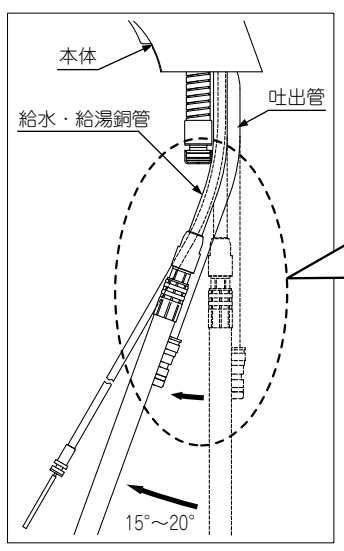
●取付にはプラスドライバー、スパナ（対辺8）、プライヤーが必要です。

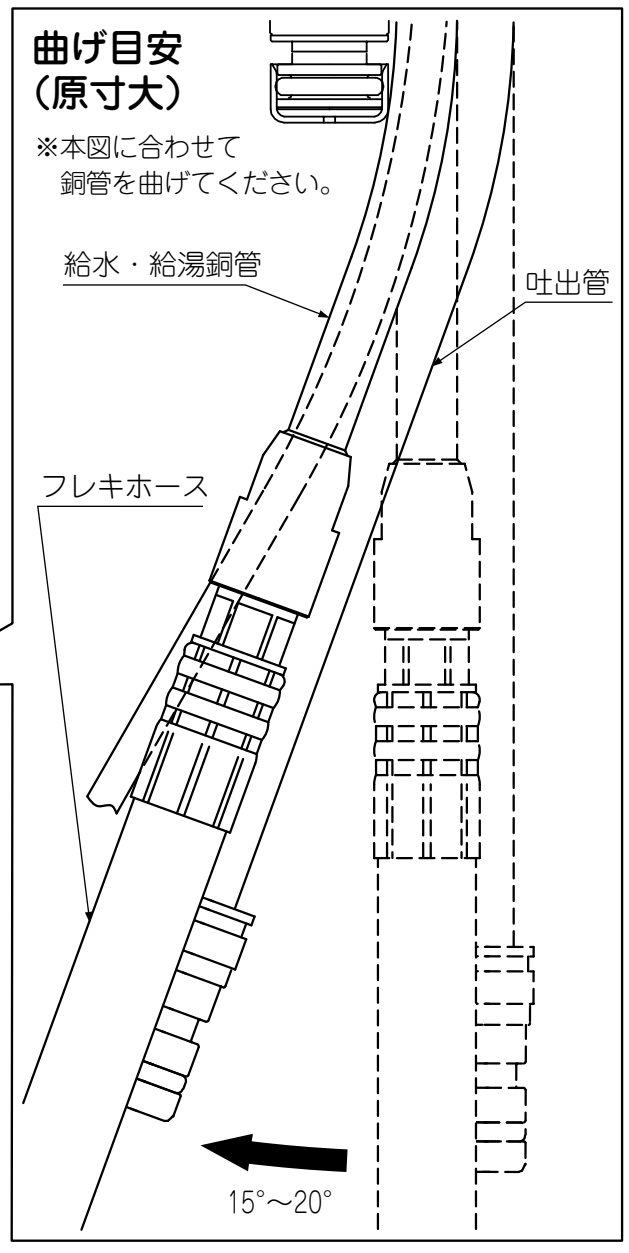
止水栓と点検口を設けてください

●取付後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
●使い勝手や性能発揮のために**流量調節をしてください。**特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

その他の注意点

●給水は上水道に接続してください。
　※温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
　※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
　※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱・取付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分注意してください。
●必ず**配管中の異物を完全に洗い流してください。**





株式会社 LIXIL

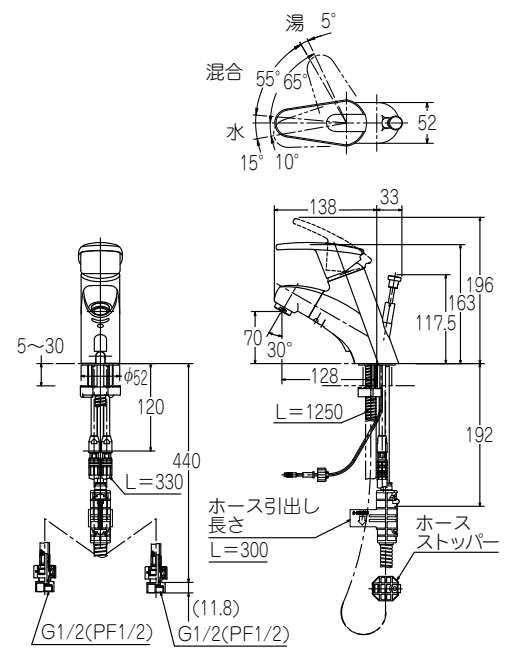
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

施工完了図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※止水栓位置の寸法は代表例です。-MBの場合、給水給湯用止水栓の取出位置は、化粧台の施工寸法に準じてください。

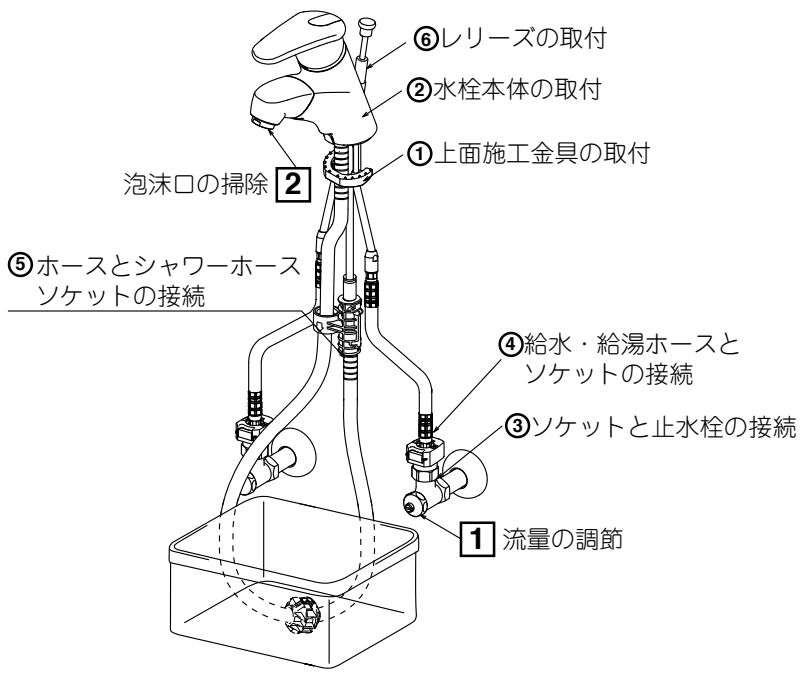
LF-A345SYX型



※カウンター穴あけ寸法はΦ36$^{+2}_{-1}$mmです。カウンター厚は5～30mm。

※陶器に取り付ける場合は、ホルダーパッキン（50-1047）を別途手配してください。

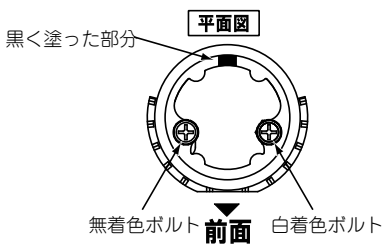
施工手順



施工方法

以下の手順通り、正しく取り付けてください。

① 上面施工金具の取付

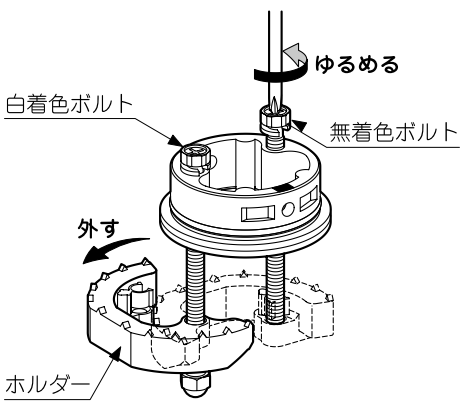


注意

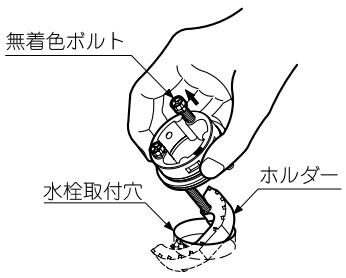
上面施工金具は向きに注意して、正しく取り付けてください。

※正しく取り付けないと水栓本体の固定強度が低下するなど、不具合の原因となります。

1. 無着色のボルトをゆるめ、ホルダーを外す。



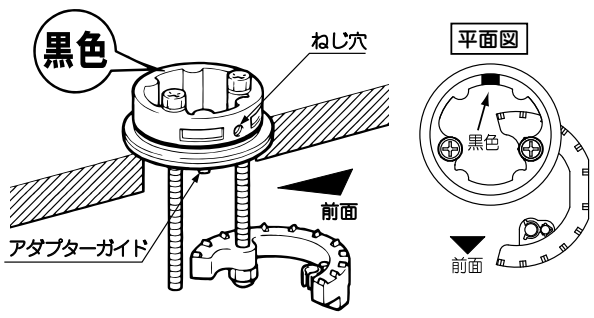
2. ホルダーを水栓取付穴に挿入する。



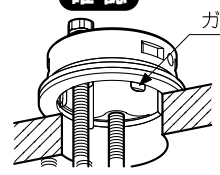
ポイント

無着色ボルトは引っかからないように少し引っぱり上げておく。

3. アダプターの黒く塗った部分が後方を向くように位置決めをする。

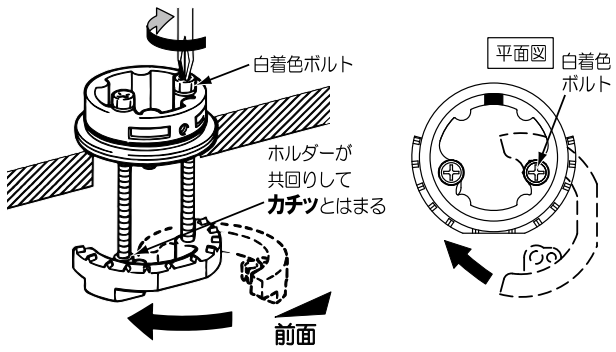


確認



4本のガイドが取付穴に確実に入っていること。

4. アダプターを手で押さえ、白着色ボルトを1～2回転締める。

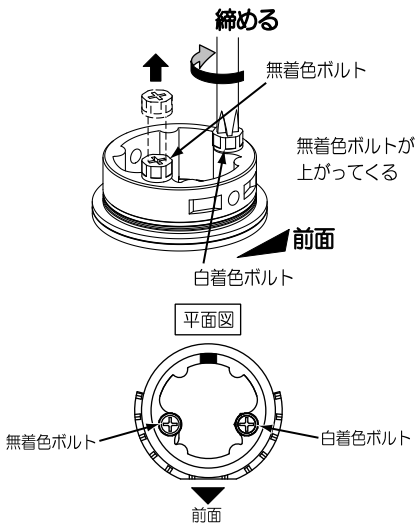


注意

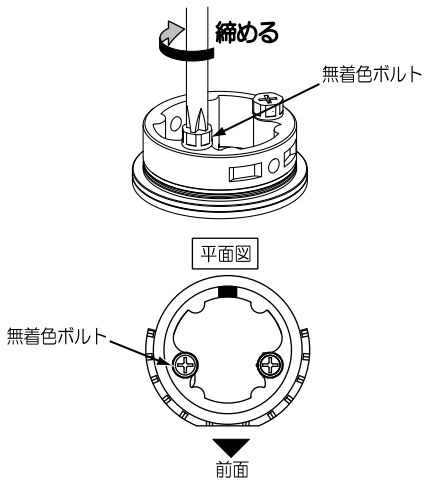
ゆっくり回してください。

※高速回転はしないでください。正しく施工できなくなる恐れがあります。

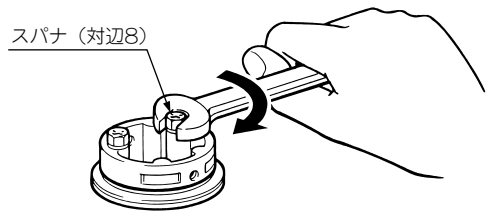
5. アダプターを手で押さえ、白着色ボルトをしっかりと締める。



6. 無着色ボルトをしっかり締める。



7. スパナでそれぞれのボルトを約1/2回転程度増締めする。



注意

締め付けすぎないでください。

ポイント

アダプターのぐらつきがないこと。

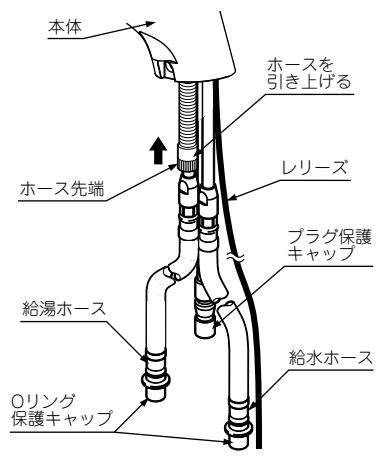
② 水栓本体の取付け

1. ホースの先端が本体の中に入るまでホースを引き上げる。

注意

Oリング保護キャップおよびプラグ保護キャップはソケットおよびカプラーと接続するまで取り外さないでください。

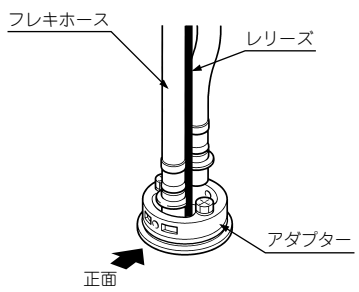
※Oリングやプラグが傷つき漏水する恐れがあります。



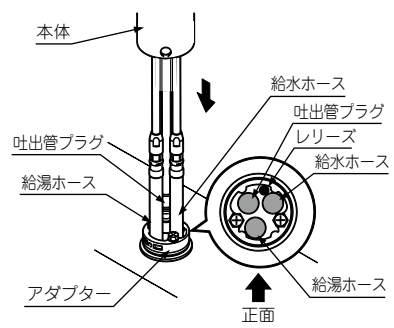
2. フレキホースをアダプターに挿入の際は、レリーズの先端を先に入れ、フレキホースの先端を縦並びにし、更に上下にずらして挿入します。

ポイント

横並びにすると、アダプターとフレキホースの先端が干渉し挿入できません。

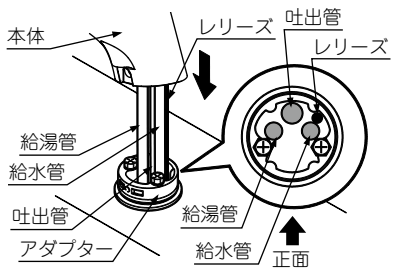


3. 本体がアダプターに挿入される直前までは、図のようにフレキホースが縦並びになる向きで本体を挿入する。



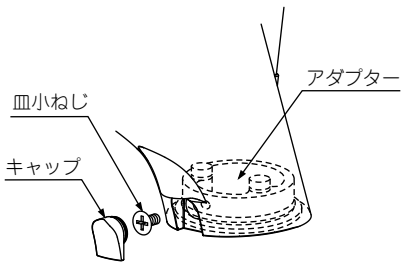
4. 本体がアダプターに挿入される直前で本体を正規の位置に戻し、アダプターに装着する。

注意
本体が正規の位置に回転可能となる前に無理に回すと、給水・給湯管、レリーズ等が破損し、漏水の原因となります。



5. 水栓本体の穴、アダプターのねじ穴が全てそろっていることを確認した上で水栓本体をアダプターに皿小ねじでしっかりと固定する。

確認
水栓本体にガタつきがないことを確認してください。

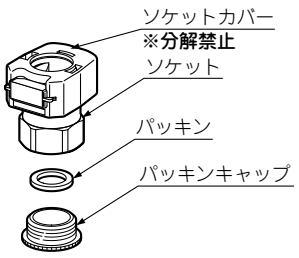


6. キャップをはめ込みます。

③ ソケットと止水栓の接続

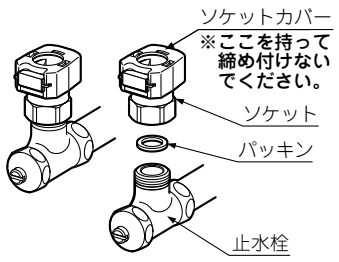
当製品はスーパークイックジョイントを採用しています。
スーパークイックジョイントは、給水・給湯ホースを差込むだけで、ワンタッチ接続できます。 **以下の注意事項を必ず守ってください。**

1. パッキンキャップを取り外す。



注意
- **パッキンの紛失に注意してください。**
  ※漏水の原因になります。
- **ソケットカバーは外さないでください。**
  ※接続できなくなります。

2. ソケットを止水栓に固定します。

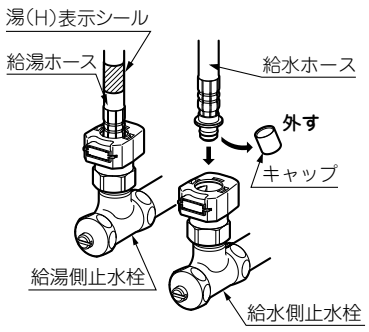


注意
締め付けは、ソケット本体に工具を掛けて行ってください。
※ソケットカバーを持って締め付けたり、ソケットカバーに工具を掛けないでください。破損し、漏水の原因となります。

ポイント
締付け後のソケットの向きは、図と異なる場合があります。

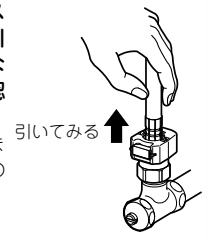
④ 給水・給湯ホースとソケットの接続

1. 給水・給湯ホースをソケットに差し込む。

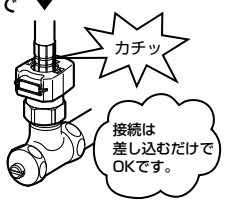


注意
Oリングに傷をつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。
※漏水の原因になります。

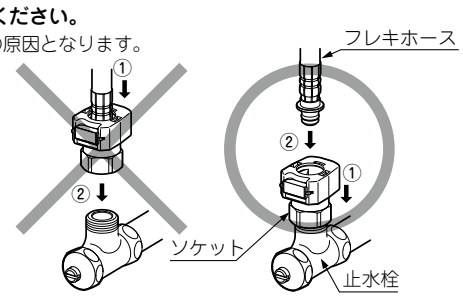
確認
給水・給湯ホースをまっすぐ上に引っ張って、抜けないことを必ず確認してください。
※確実に差し込まれないと、漏水の原因となります。



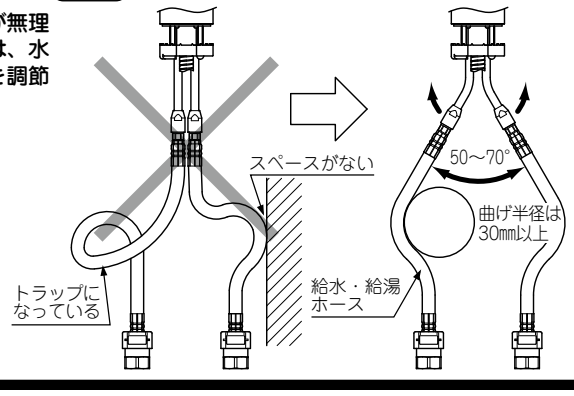
ポイント
カチッと音がするまで差し込む。



注意
必ずソケットを止水栓に固定してから給水・給湯ホースを接続してください。
※漏水の原因となります。

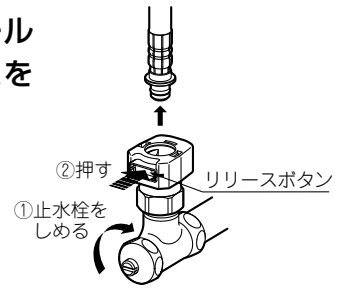


注意
フレキホースの長さが余り、ホースが無理に曲がるなどの不具合を生じるときは、水栓の銅管を曲げ、ホースの曲がり方を調節してください。



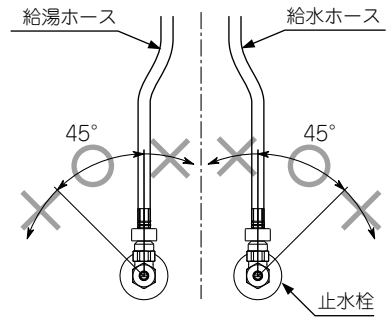
注意
給湯配管には、給湯ホースのみ接続してください。

2. ホースを外すときは止水栓をしめて、青いシールをはがし、リリースボタンを押しながらホースを上に引く。



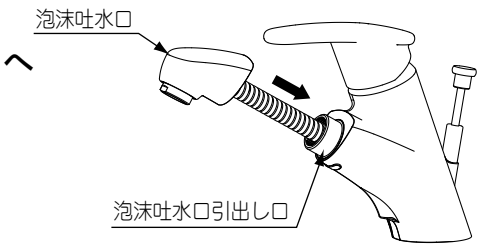
〔給水・給湯の取出位置によって止水栓を垂直に取付けできない場合〕

※止水栓の向きを図のように外側に約45°以内で傾けて、給水・給湯ホースが無理に曲がらないように調節してください。

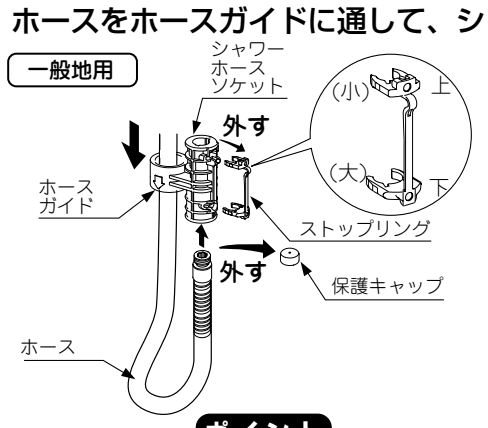


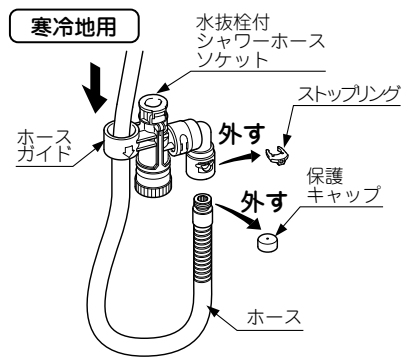
⑤ ホースとシャワーホースソケットの接続

1. 泡沫吐水口を泡沫吐水口引出し口へ納める。



2. ホースをホースガイドに通して、シャワーホースソケットに差し込む。



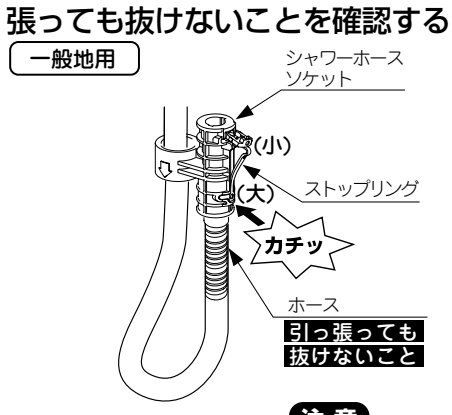


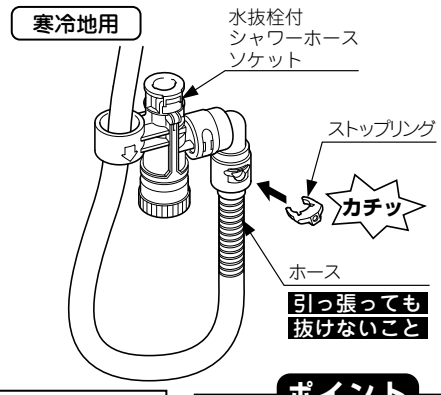
ポイント
シャワーホースは奥までしっかりと差し込む。

注意
ストップリングを紛失しないように注意してください。
※シャワーホースが固定できず、漏水の原因となります。

注意
ホースガイドがイラストのようにシャワーホースソケットの**左側**となるように取り付けてください。
※ホースがスムーズに収納できない恐れがあります。

3. ストップリングをシャワーホースソケットに差し込んだ後、ホースを引っ張っても抜けないことを確認する。

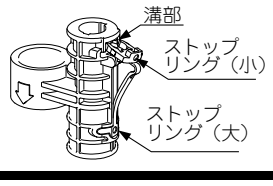




注意
ストップリングは、しっかりとはめ込んでください。
※ストップリングが外れると漏水の原因となります。

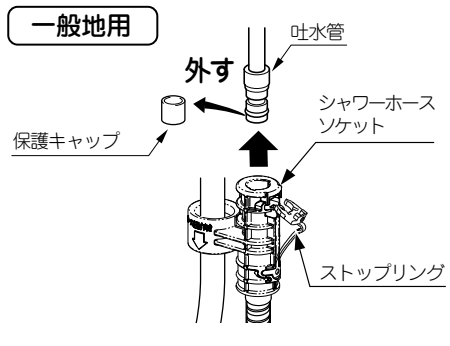
ポイント
ホースを引っ張っても抜けないこと。

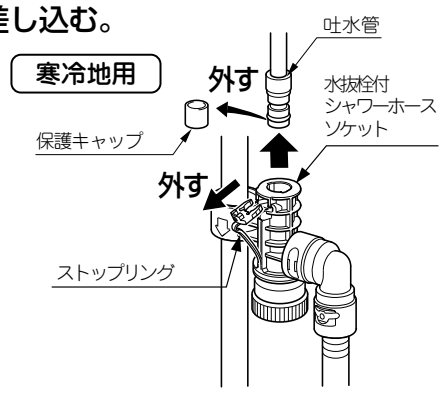
ポイント



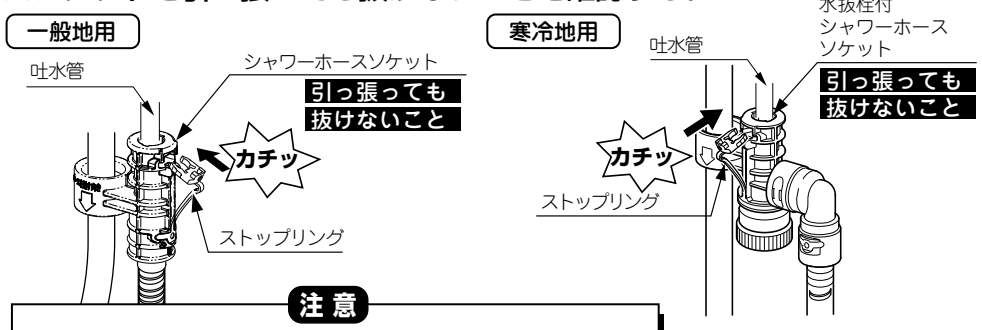
あらかじめストップリング（小）をソケット溝部に設置しておくと、取付作業が容易になります。

4. シャワーホースソケットを吐水管に差し込む。





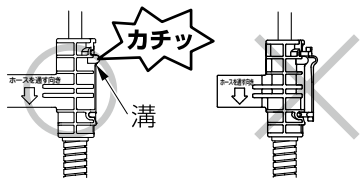
5. ストップリングをシャワーホースソケットに差し込んだ後、シャワーホースソケットを引っ張っても抜けないことを確認する。



注意

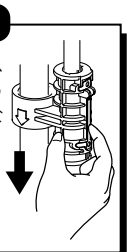
- カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- ストップリングがシャワーホースソケットの溝に納まっていることを確認してください。

※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。



確認

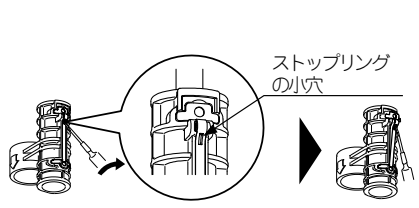
シャワーホースソケットを引っ張って、抜けないこと。



ポイント

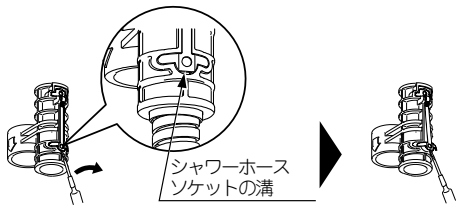
ストップリングの外し方

吐水管側



- マイナスドライバーを小穴に入れ、矢印方向に引き出して外します。

シャワーホース側

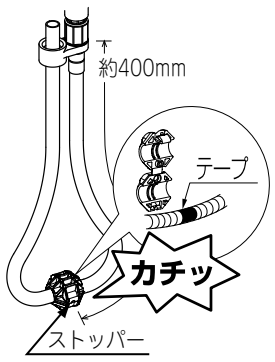


- マイナスドライバーをシャワーホースソケットの溝に入れ、矢印方向に引き出して外します。

6. 泡沫吐水口を引出し口に納めた状態で、ストッパーを右図の位置に取り付ける。

ポイント

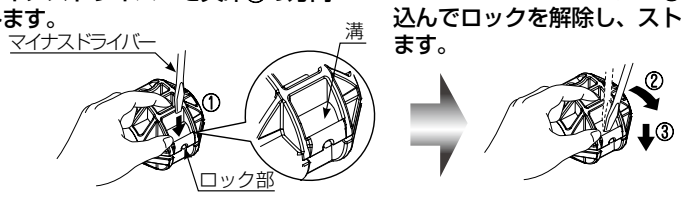
- ホースをいっぱいまで引き出したとき、止水栓などに引っ掛かる場合は、ストッパーの位置を調節する。
- ホース引出し長さは300mmを目安とする。



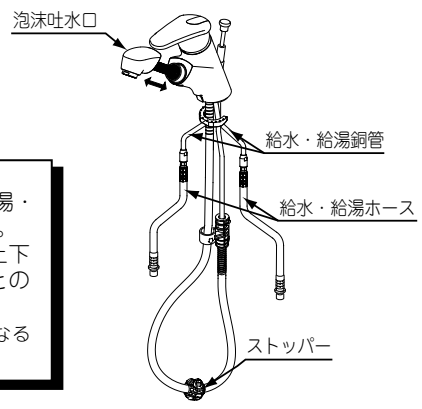
ポイント

ストッパーの外し方

1. ストッパーを指で押さえます。ロック部の溝に、マイナスドライバーを矢印①の方向に差込みます。
2. 差込んだマイナスドライバーを矢印②の方向に傾けます。
3. マイナスドライバーを矢印③の方向に押し込んでロックを解除し、ストッパーを外します。



7. 泡沫吐水口を出し入れし、ストッパーが給水・給湯ホースや他の配管等と干渉せずにスムーズに上下に動くことを確認する。



注意

- ストッパーが給水・給湯ホースと干渉する場合は、給湯・給水銅管を軽く曲げてホースの干渉を避けてください。
- ホースが他の配管等と干渉し、ホースがスムーズに上下しない場合は、ホースガイドを回転させて、ホースとの干渉を避けてください。

※給水・給湯ホースと干渉すると、泡沫吐水口が引き出せなくなる恐れがあります。

6 レリーズの取付け

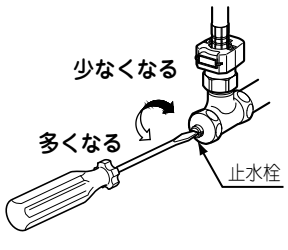
排水器具付属の施工説明書を確認ください。

施工後の調整

以下の手順で調節してください。

1 流量の調節

水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.2MPaを超える場合は、湯水の流量が同じになるように、シンク下の水側の止水栓を絞ってください。



注意

最終点検時は配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。

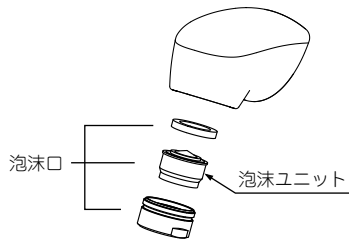
2 泡沫口の掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、泡沫口内の泡沫ユニットの掃除を、以下の要領で行ってください。

1. 泡沫口の紛失を防ぐため、排水栓を閉じる。または、排水口を布等でおおう。

2. 工具で泡沫口を回して泡沫ユニットを取り外し、水で掃除する。

3. 泡沫口部を工具でしっかり右に回して取り付ける。



確認

泡沫口の取り外しは直接工具を掛けますと、泡沫口をキズつける場合があります。必ず、布などを当てて工具を掛けてください。

ポイント

取付前に、乾いた布等で、泡沫口部に付着した水を拭き取る。

※泡沫口部が濡れていると、手が滑り、締付け不足になる恐れがあります。

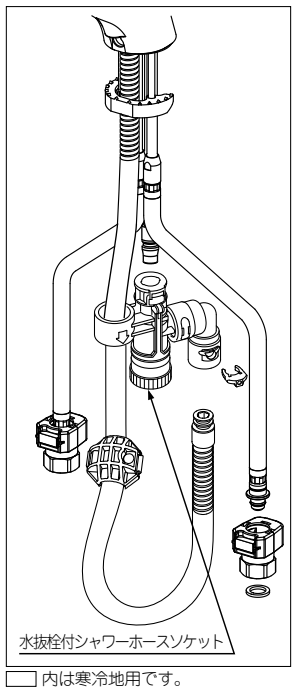
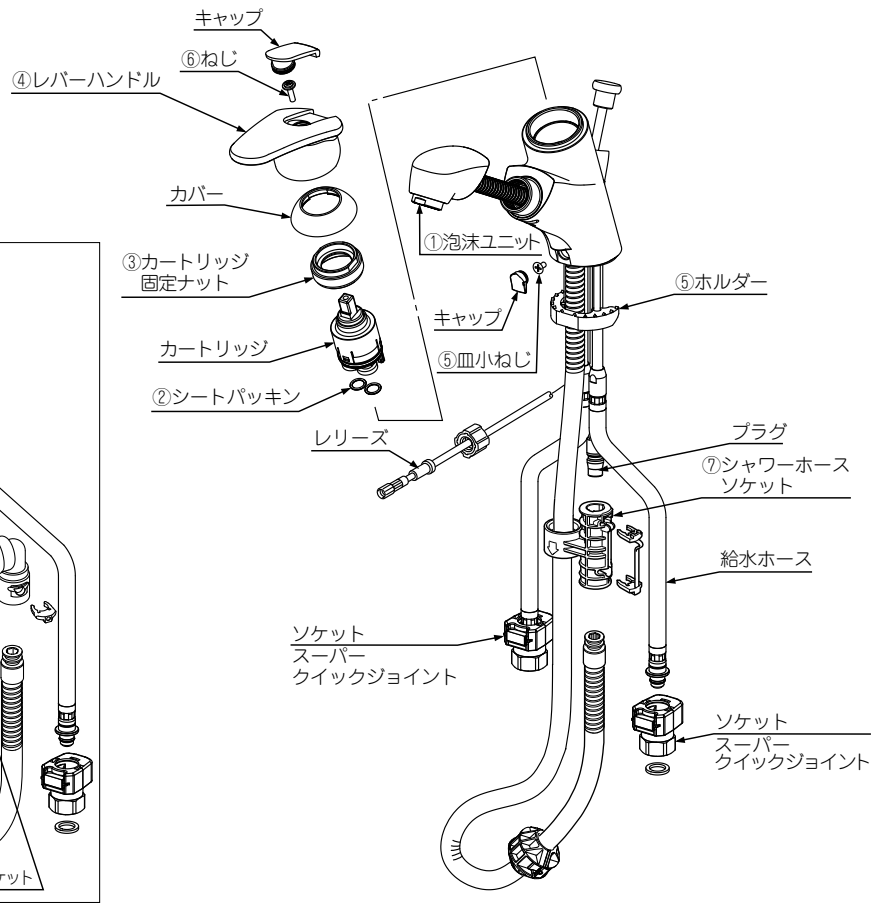
引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

ポイント

この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じることがありますが故障ではありません。ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

	現象	点検内容	点検箇所	処置
水栓本体部	流量が少ない	圧力は十分か？	—	「使用条件」の項参照。
		配管途中に大きな抵抗はないか?	—	抵抗となる障害物を取り除く。
		止水栓は十分開いているか？	—	止水栓を十分開く。
		泡沫ユニットにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
		キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
		ゆるみはないか？	③	カートリッジ固定ナットを締める。締め過ぎるとレバーハンドルが重くなることがありますので注意してください。
	切替レバーの表示と異なる箇所から水が出る	流量調節はよいか？	—	「流量の調節」の項参照。
	ハンドルが右側に回らない	ハンドルの操作位置は正しいか？	④	エコハンドルはレバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。（施工完了図参照）
	希望の温度が得られない	ハンドルの操作位置は正しいか？	④	エコハンドルはレバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。（施工完了図参照）
		圧力は十分か？	—	「使用条件」の項参照。
		流量調節はよいか？	—	「流量の調節」の項参照。
		泡沫ユニットにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	⑤	ねじをしっかりと締める。
	レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	⑥	ねじをしっかりと締める。
	ホースがスムーズに収納できない	シンク内でホースがねじれたり、配管等と干渉していないか？	⑦	「ホース収納性の確認」の項参照。



□ 内は寒冷地用です。